

新技術・新工法技術講習会

先進事例をヒントに

県建設技術センターなど

県建設技術センターなど
が主催する新技術・新工法に関する技術講習会が6日、鹿児島市の県市町村自治会館であった。県内各地の建設業者やコンサルタント関係などから420人が参加。県のトライアル発注製品として採用された先進技術の紹介があり、新たな事業展開のノウハウを学んだ。



県内中小企業の新たな技術・製品開発を側面からサポートすることを目的に開かれた講習会。県が17年度から実施するトライアル発注制度の概要説明や、事例紹介に耳を傾ける参加者。鹿児島市の県市町村自治会館で

就任インタビュー

県道路建設課高速道対策室長 渡邊 敏晴さん



抱える課題は。本県の高規格幹線道路の供用率は60%と、全国の70%に比べてまだ低い状況。いまだ事業化されていない区間もあり、ミッシングリンクの解消は喫緊の課題といえる。

整備推進に全力

東日本大震災では経済的側面だけでなく、防災的な側面からも交通ネットワークの重要性があらためて認識された。復興財源の議論によって、必要な財源を確保できるか懸念されるところ。関係市町と一体となって地域の声を国へ届けるなど、整備推進や早期事業化に努めたい。

趣味は。植物の手入れやドラ

合塗料など、県内資源を生かした製品や技術開発が目立った。同講習会は14日、奄美市でも開かれる。発表製品(企業)は次の通り。

再資源レンガ(南国殖産)
(株)ワシラス緑化基盤
(株)ストーンワークス
▽緑化資材「サンケイグリーン」(サンケイエコノイル1号) (南)サンケイ工業
▽L工補強工法に係る土木資材(株)日本

地下技術)▽焼酎粕コンクリート製消波・根固ブロック(鹿児島共和コンクリート工業(株))▽光触媒複合塗料「イーデンペイント」を用いた遮熱・抗菌・防汚の工法(株)鹿児島イーデン電気

建協指宿支部安全パト

徹底管理で無災害を

県建設業協会指宿支部(福永昭一支部長)は5日、指宿市東方海岸の工事現場で安全パトロールを実施した。労務委員ら



現場を入念にチェックする診断員＝指宿市の現場で

7人が参加し、労働災害の撲滅へ安全管理の徹底を呼び掛けた。診断箇所は、県南薩地域振興局建設部発注の海岸防波堤等老朽化対策緊急工事(東方海岸)の2工区(県福高施工)、同3工区(県出口組施工)、同4工区(県丸善産業施工)の3現場。

診断員らは、雨が降るあいにくの天候の中、現場の施工状況を把握し、施工計画書など関係書類の記入状況、安全施工サイクル運動の実施状況などを入念に点検した。

パト終了後には、現場代理人らと交えて反省会を実施。診断員らは「各現場とも重点事項を中心におおむね良好」とした上で、「(高波など)万が一に備え、救命胴衣を着用して作業を」と呼び掛けた。

新村三男労務委員長(新村建設(株))は「初心に帰って、より一層気を引き締めてほしい」と安全管理を徹底するよう促した。

県建造物解体連出水地区総会

再選 一層の結束確認

県建造物解体業連合会出水地区(地区長・鶴長親雄(株)長崎組社長)は6月30日、出水市の居酒屋無邪気で23年度通常総会を開いた。任期満了に伴う役員改選では、鶴長地区長を再選したほか、新年度事業計画などを可決した。役員改選では、鶴長地区長を再選したほか、新年度事業計画などは、平山副地区長など全役員が留任となった。発注官庁への要望・陳情活動や地域貢献を念頭に置いた奉仕作業、出水市大産業祭への出展などを盛り込んだ。



冒頭の挨拶で会員に協力を求める鶴長地区長＝出水市の居酒屋無邪気で

「取り巻く環境は依然として厳しい状況だが、われわれはこの窮状に立ち向かわねばならない。さらに結束力を高め、この難局を乗り切っていきたい」と語った。新役員は次の通り。

地区長＝鶴長親雄▽副地区長＝平山政彦▽監査理事＝田淵慎一(南)田淵産業)▽会計＝岩下喜一(株)岩下建設

天城町、町制施行50周年記念講演会が8月20日午後2時から、同町中央公民館で開かれる。入場無料。宇宙航空研究開発機構の山田哲哉准教授を講師に、「はやぶさ地球帰還」と題し講演する。問い合わせは、同講演実行委員会(企画課内)0997・85・3111まで。

県都市計画課生活排水対策室長 児玉 利貞さん



就任の抱負を。「人と自然が調和する地球にやさしい社会づくり」を目指し、省庁を超えて下水道や集排水事業を推進している市町村が少ない。合併浄化槽も国の交付金に併せて県や市町村が助成を行っているが、その普及率は低い。さらなる啓発活動で普及率の向上に努めたい。

今後の展望を。厳しい財政状況もあって、下水道や集排水事業を推進している市町村が少ない。合併浄化槽も国の交付金に併せて県や市町村が助成を行っているが、その普及率は低い。さらなる啓発活動で普及率の向上に努めたい。

知恵出し合って

鹿児島市出身。鹿児島大学工学部を卒業後、昭和55年に入庁。鹿児島地域振興局河川港湾課長などを歴任し4月から現職。鹿児島市伊敷台4丁目在住。55

愛の福祉基金感謝状贈呈式

江口土木などに



長望であった。対象者は、(株)江口土木(江口正幸社長)のほか、鹿児島市北勤労女性センター友の会、鹿児島北ロータリークラブの3団体。写真では、今回で3回目となる(株)江口土木をはじめ、代表者一人ひとりに感謝状が手渡された。

鹿児島市

健全育成のために心からの寄付に感謝しています」と言葉添えた。

(株)江口土木の江口まさ